

彩の歳時記

二十五年 九月

月々に月見る月は多けれど 月見る月はこの月の月

詠み人知らず

「毎月、鑑賞する月はあるが、名月を見る月といえば、今月〔仲秋〕のこの月である」

平安時代、宮中の女官たちが芋に箸で穴を開け、その穴から月を覗いて、この歌を詠むときたりがあったと言われます。十五夜の月見は、中国伝来の風習で、平安時代に村上天皇が観月の歌会を催したのが始まり。貴族達は月を直視せず、杯や池に月を映して楽しんでいただきます。空の月と一ヶ月の月は、英語では“moon”と“month”ですが、日本語ではどちらも「月」ということから生まれた歌。



九月の異称

長月ながつき 秋の夜長から長月、稲刈月の「い」「り」を略した説も。
いなりつき

九月の暦

あしびきの山鳥の尾のしだり尾の長々し夜をひとりかも寝む 柿本人麿

一日 防災記念日 大正十二年(1923)に発生した関東大震災における遭難死者を追弔し、記念する日。

相模湾を震源とするM7.9の直下型地震は、台風と重なり大火災が発生、死者・行方不明者・十万人余。昭和三十五年に防災の日に制定。意識向上の為、池袋・立川・本所に防災館を設置。

二百十日 台風襲来の時期。夏目漱石「二百十日」は、嵐で阿蘇山に登れなかった青年二人が当時の世情などを語り合う会話体の小説。ユーモアに溢れ、江戸っ子・漱石の一面を満喫できる。

二日

天心忌 美術評論家・岡倉天心おかくらてんしん【1863～1913(大正二)】没後百年の忌日。東京美術学校の校長、

日本美術院の創立などに尽力。福井藩の武家の子。横浜生まれ。帝大在学中から日本美術の恩人フェノロサの感化を受け、伝統美術復興に尽力、日本の近代美術の先駆者。台東区谷中に岡倉天心記念公園(旧邸・日本美術院跡)



宝くじの日 九二(くじ)の語呂合わせ。この日、はずれくじ対象のお楽しみ抽選会がある。

七日

白露はくろ 【二十四節気】 秋の気配が本格的に。白露しらつゆが野草に宿り秋の趣が深くなる。



九日

重陽の節句ちゅうようのせきご (五節句の一つ) 奇数は陽の数であり、陽数の極である九が重なることから「重陽」。

十六日 敬老の日 2002年までは十五日。2003年から「祝日法」の改正で「第三月曜日」に。

十九日

十五夜 仲秋の名月 またの名を「芋名月」、十三夜(十月十三日)は「豆名月」「栗名月」呼ぶ。

二十日 秋の彼岸 (二十日から二十六日) の入り

二十一日

賢治忌 童話作家・詩人の宮澤賢治みやざわけんじ【1896～1933】の歿後八十年の忌日。

花巻の人。人と動物や植物、風や雲や光、星や太陽といった森羅万象との対話が賢治の物語の特色。「風又三郎」「銀河鉄道の夜」「セロ弾きゴーシュ」等。



井上ひさし【1934～2010】の戯曲「イーハトーボの劇列車」は賢治の生涯を描いた傑作。

二十三日

秋分の日【二十四節気】彼岸ひがんの中日。昼と夜の長さがほぼ同じに。日が短くなる。

九月の歌

エーデルワイス 詞 オスカー・ハマースタイン二世 曲 リチャード・ロジャース

1959年、ブロードウェイ・ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』の挿入歌。

原作は、オーストリア出身のマリア・フォン・ストラップの『トラップ・ファミリー合唱団物語』。劇中、トラップ大佐が歌う「ドイツに併合、消えゆく祖国オーストリアを想い、国の象徴としてのエーデルワイスを愛でる歌」がヒット。日本では、教科書

に採用、登山者等の歌集にも収録された。1965年、ジュリー・アンドリュース主演の映画も大ヒットした。エーデルワイスは、ユーラシア大陸の高山地帯に分布、多年草で草原に自生、日本ではセイヨウウスユキ草と呼ばれる。ドイツ語で「高貴な白」の意味。



エーデルワイス エーセルワイス
かわいいたよ
白い露にぬれてさく花
赤く青く光る
あの空の野に
エーデルワイス エーデルワイス
明るくにおえ

訳詞 阪田寛夫